

地域ぐるみで
福祉の心を育てよう



那加福祉協社

編集・発行
各務原市社会福祉協議会
那加一支部
支部だより編集委員会

那加一校区をもう少し詳しくみてみますと、平成元年より平成八年までの最近七年間で、十四歳以下の年少人口は二百四十六人減り、六十五歳以上の老年人口は三百九十八人増え、一段と高齢化が進んだことが分かります。

日本人の平均寿命も、昨年は男七十六・三六歳、女八十二・八四歳となりました。高齢化が進むにつれて、要介護

各務原市は団地等の関係で、国の平均より七・八年低く十一・六％（四月一日現在）、那加一校区は高齢者千三百六十六人で十三・四％（四月一日現在）です。市内十六小学校区の中で五番目に高い率です。

総務庁の発表によりますと、「敬老の日」の九月十五日現在で、わが国の六十五歳以上の高齢者の推計は、昨年より七十八万人増え、千八百九十九万人で、総人口に占める割合も前年より〇・六％増えて十五・一名と、これまでに最も高い割合となりました。

人口の年齢別構成もピラミッド型から逆三角型になり、日本の社会そのものが老化し活力を失うことになります。少子化の原因は複雑でいろいろな要因が重なりあっています。国としても子育てプランを作り歯止めをかけ、増加に転ずるよう努力していますがまだ目立った成果は表れておりません。

現在の人口を維持するためには、この数値が二・一人必要とされています。従ってこの傾向のままで推移すれば日本の国の人口は減少に向かい、それだけでなく、十四歳以下の年少者人口と六十五歳以上の老年者人口の占める割合が逆転する、いわゆる老若逆転現象が近い将来おきてきます。

厚生省の発表によりますと、一九九五年の出生数は百十八万七千六百七十七人で、前年より五万二千二百六十一人の減少でした。一人の女性が一生の間に産む平均子供数の合計特殊出生率は一・四三人で、人口千人当たり九・五人でした。この数値は日本の国が明治三十年以降統計をとり始めて以来最低の記録です。

少子化・高齢化について

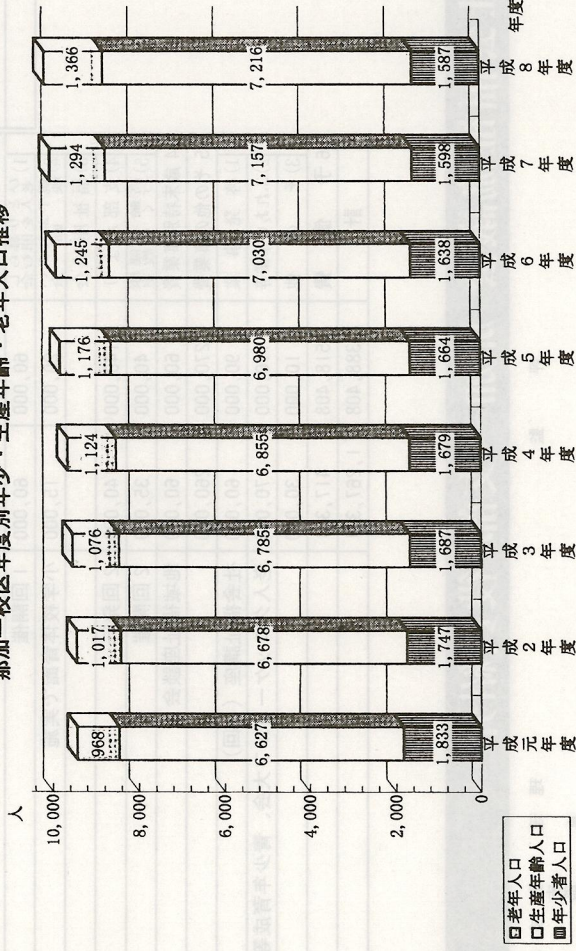
各務原市社会福祉協議会那加一支部長

前田常夫

者の増加・独居老人、高齢者世帯の増加、介護の重度化、長期化、介護者の高齢化など福祉のうえで厳しい問題がだんだん多く発生しています。

私達社協那加一は校区の皆様下のご意見をよく聞き、皆さんの方のご指導とご協力の上、いたわりと思いやりの心を持ち、ぬくもりとやすらぎのある福祉那加一をめざし努力したいと思っています。どうか宜しくお願いします。

那加一校区年度別年少・生産年齢・老年人口推移



数字で見る那加一

●人口

各務原市 134,435人

10,421人(男/5,137人・女/5,284人)

●ひとり暮らし老人

各務原市 730人

(老人人口の 4.6%)

44人

(老人人口の 3.1%)

●老人人口

各務原市 15,920人

(人口の 11.8%)

1,412人

(人口の 13.5%)

●ねたきり老人(65歳以上)

各務原市 341人(老人人口の 2.1%)

26人(老人人口の 1.8%)

●世帯数

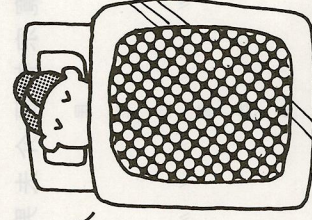
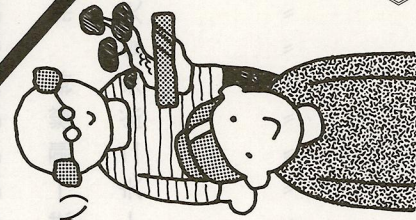
各務原市 41,223世帯

3,332世帯

●一世帯人員

各務原市 3.26人

3.13人



《平成 8 年 10 月 1 日現在》

加那大社 支部 上半期事業報告

月 日	活 動 内 容	月 日	活 動 内 容
4月25日	○第1回理事会 平成8年度年間活動計画案、予算案、役員案の作成	7月2日 8月6日	施しました。 ○第2回福祉講座 ○親子ふれあい福祉映画会 那加一体育館にて「ベトちゃんドラちゃんよりの手紙」を鑑賞し大きな感銘を受けました。
5月8日	○第1回支部総会、理事・評議員出席 平成8年度年間活動計画、予算の決定、役員の承認	8月10日	○福祉作文、ポスター等の審査
6月5日	○第2回理事会 福祉作文、標語、ポスターの募集、福祉講座、福祉映画会等について	8月18日 9月15日 9月19日	○那加一小福祉ポスター等の表彰式 ○第3回福祉講座 第9回福祉講演会 ○ひとり暮らし老人を囲む会実行委員会
6月18日	○第1回福祉講座	9月26日	○高齢者健康づくり教室
6月28日	○車椅子体験学習会 那加一小4年生103名の児童を対象に体育館で実	10月2日	○第4回福祉講座

平成8年度 社協那加一支部 収支予算書

■収入の部

科 目	本年度予算円	前年度予算円	備 考
1 支部交付金	530,000	500,000	市社協から交付（会費の40%）
2 支部交付推進事業	100,000	100,000	市社協より指定
3 助成事業	180,000	180,000	市協により140,000、一人暮らし老人用む会等20,000
4 その他金	30,000	30,000	高齢者健康づくり教室20,000
5 繰越金	547,908	456,321	歳末福祉座談会
6 雑収入	500	1,000	前年度からの繰越金
計	1,388,408	1,267,321	預金利息

■支出の部

科 目	本年度予算	前年度予算	備 考
1 事務費	30,000	30,000	コピー代、通信費、フイルム代等
2 共通実施事業費	250,000	250,000	
1) 福祉教育事業費	80,000	80,000	小・中学生福祉作文・標語・ポスターの募集 50,000。福祉講演会30,000。
2) 友愛訪問事業費	110,000	110,000	寝たきり老人・高齢者慰問・ねたきり老人給食
3) 支部育成事業費	60,000	60,000	理事会、支部総会
3 メニュー事業	260,000	250,000	
1) 老人を囲む会	60,000	60,000	1 回開催
2) 晩 餐 会	20,000	15,000	小学校体育館で実施
3) 福祉座談会			
4) 支部だより	140,000	140,000	2 回発行
5) 講師者健康教室	40,000	35,000	2 回開催
4 歳末特別事業費	60,000	60,000	地域福祉座談会
5 その他の事業費	270,000	260,000	
1) 啓 発 事 業	90,000	60,000	社会福祉講座 (4 回)
2) ふれあい事業等	170,000	170,000	老人クロツケーゴルフ大会、青少年育成等
3) そ の 他	10,000	30,000	
6 子 備 費	518,408	417,321	
計	1,388,408	1,267,321	



平成8年度 各務原市社会福祉協議会 那加一支部 役員紹介

[illegible]

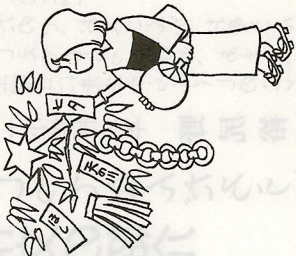


▲最優秀 高橋円香さんの作品

一緒に作ったよ七夕飾り おじいさん、おばあさん スゴイ!!

平成 8 年 6 月25日
那加保育所

りさのは さ～ら さ～ら
保育所の軒場に、子どもの声に交じって、おじいさん、おばあさんの声がきれいに聞こえます。七夕の日を前に、子供たちと一緒に七夕飾りを作っていたのだこうと、おじいさんおばあさんをお招きしました。昔とったきねずか、おじいさんおばあさんの知恵袋はさすが。また、やさしく、ゆっくり、ていねいで、子供のテンポにぴったり。いっぱい甘えることもでき気持ちの温かい時を過ごすことができました。子供たちは、本当におじいさん、おばあさんが大好きなんですね。



▲七夕飾り作りを通して、交流を深める

今日わたしは、初めて車いすに乗りました。今までに、車いすに乗っている人を見たことはありません。けれども、乗ったことは一度もありませんでした。今日乗るまでは、かんたんに乗れるものだと思っていました。でも、実際に乗ってみると、とてもたいへんでした。平らな所をまっすぐ進むことはすぐにできましたが、マットの上でむきをかえることや、ぼうのまわりを回ることが、とてもむずかしくて、なかなかできませんでした。

毎日、車いすで生活している山口さんと前田さんからの話も聞きました。車いすは、体が

不自由な人でも、いろいろな所に行けてべんりだけれど、たいへんなことも、たくさんあることがわかりました。

ふくしかいかんや、そうごう体育館などで、車いすのまつかえる電話ボックスや、トイレを見たことがあります。それが、もつといろいろな所にできて、少しでもべんりになるといいと思います。

これからは、車いすに乗っている人を見かけたら、自分から声をかけていきたいと思います。少しでも、わたしが役に立てたらうれしいと思います。とてもいいけいけんになりました。

福祉ポスタ―表彰者

- | | | |
|-----|----|---------|
| 最優秀 | 一年 | 高橋 円 香 |
| 優 秀 | 一年 | 田 口 恵 理 |
| 優 秀 | 一年 | 梅 田 有 紀 |

福祉標語表彰者

- | | | |
|-----|----|---------|
| 最優秀 | 一年 | 横 山 仁 美 |
| 優 秀 | 一年 | 津 田 希 美 |
| 優 秀 | 一年 | 高 橋 円 香 |
| 入 選 | 一年 | 荒 川 美 幸 |
| 入 選 | 一年 | 馬 渕 美 香 |
| 入 選 | 一年 | 梅 田 有 紀 |

- | | | |
|-----|----|---------|
| 入 選 | 一年 | 宇野 豪 晃 |
| 入 選 | 一年 | 藤 田 圭 |
| 入 選 | 一年 | 三 上 和 宏 |

- | | | | |
|--------|--------|-------|------|
| 福祉の輪 | 広げていこう | 我が町に | |
| さしのべよう | 愛の手 | 孫の手 | 家族の手 |
| 広めよう | ともに手 | をとり | 福祉の輪 |
| お年寄り | さしだそう | よ愛の手を | |
| 手をかそう | 困っている人 | 見かけたら | |
| やさしさで | 心をひらく | ふれあいを | |

ご協力ありがとうございました 会員募集実績まとめ

平成 8 年度社協会費についてのお礼

那加一校區住民の皆さま方の福祉に対する温かいご理解とご協力により、今年も昨年に比べ会費総額において7,000円増加し、大へん有難く思っています。社協那加一支部の活動や事業も活発にでき、心よりお礼申し上げます。

平成 8 年度社協那加一支部会員募集実績表

自治会名	一般会員数	一般会費額	特別会員数	特別会費額	会員数合計	会費額合計
新加納町第 1	47	23,500	15	15,000	62	38,500
新加納町第 2	47	23,500	14	14,000	61	37,500
新加納町第 3	93	46,500	7	7,000	100	53,500
新加納町第 4	45	22,500	6	6,000	51	28,500
新加納町第 5	84	42,000	7	7,000	91	49,000
日吉町	89	44,500	25	25,000	114	69,500
浜見町 1	76	38,000	18	18,000	94	56,000
浜見町 2	73	36,500	11	11,000	84	47,500
新田町	237	118,500	22	22,000	259	140,500
那加の台	61	30,500	7	7,000	68	37,500
長塚町	124	62,000	22	27,000	146	89,000
山後町	129	64,500	17	17,000	146	81,500
岩地町	115	57,500	15	15,000	130	72,500
桐野町	157	78,500	11	12,000	168	90,500
西市場町	160	80,000	19	19,000	179	99,000
前野町	165	82,500	47	47,000	212	129,500
野畑町	65	32,500	12	14,000	77	46,500
雇用促進住宅	71	35,500	0	0	71	35,500
金屬団地共同宿舍	55	27,500	5	5,000	60	32,500
琴が丘	202	101,000	30	30,000	232	131,000
サニ―ハイツ	17	8,500	0	0	17	8,500
合 計	2,112	1,056,000	310	318,000	2,422	1,374,000

芽ばえる福祉の心

那加一小福祉作文・ポスター表彰式

平成八年八月十八日、那加第一小学校でもフエスライバル開会式の席上、一学期に那加第一小学校の児童に書いてもらった福祉作文、ポスターの表彰状並びに賞品を渡されました。那加一校区も年々ねたきり老人・ひとりぐらし老人等がふえてきました。高齢化社会になるとボランティア、奉仕の心、思いやりの心が大事になってきます。先日東京の身体障害者の女性が十八人のボランティアの援助によつて車椅子で富士山へ登られました。みんな小さな福祉、自分でできる奉仕をするよう心掛け、人間が人間らしい生活のできるよう努めましょうと話されました。

福祉作文表彰者

- | | | |
|-----|---------|--------|
| 最優秀 | 3 年 | 野尻裕太 |
| 優秀 | 3 年 | 岩田友いな |
| 入選 | おもたいかばん | |
| 入選 | 2 年 | あさのまさや |
| 入選 | 2 年 | あさのゆき |
- 体のふいふいな人に親切にしてください



▲前田支部長から賞状を受けとる児童

福祉作文の紹介

「ふくしつてなんだろう」
那加第一小学校三年 野尻裕太

「ふくしつてなに。」
と聞きました。だけど、だれにもきこわ
かりませんでした。それで、ぼくは、みんな
で考えることにしました。ぼくは、先生が教
えてくれたように、一人ぐらしのお年よりと
かに、なにかにしてあげるのがふくしじやない
かと思ひました。それは、お母さんに話した
ら、お母さんは、
「なにかつてなにをしてあげるの。」
とお母さんが聞きました。ぼくは
「お年よりだからかたききしてあげる
のがふくしじやないの。」
としました。

そしたらお母さんが、
「かたききもそうだし、話し相手になつて
あげたり、ごはんをつくつてあげたり、おふ
ろにはいらせてあげたりもするんだよ。」
としました。そして、
「お年よりのおてつただけするのかな。」
とお母さんははくに聞きました。ぼくは、
「子どもから、お年よりまでの体の弱い人を
たすけるのもそうだと思う。」
と言ひました。そうしたら、お母さんが、
「たとえば、車いすにのつている人はかたき
きを車いすではのほれないでしょ。だからス
ローをさがしてあげるとか、目が見えない
人のためにいるんなことかわかるように点
字にやくしたりとか。一言ではいえないこ
とばかりでした。
ぼくは、ふくしじやつときちんとわかつた
ような気がしました。

福祉ポスター表彰者

- | | | |
|-----|-----|------|
| 最優秀 | 6 年 | 桂川雅人 |
| 優秀 | 6 年 | 渡辺大輔 |
| 優秀 | 6 年 | 浅野大 |
| 入選 | 6 年 | 木村克也 |
| 入選 | 6 年 | 領木里紗 |
| 選 | 6 年 | 松岡祐樹 |

社協那加一支部が、昨年度につづき本年度も市社協よりモデル地区の指定をうけ、交付金をいただきました。そこで那加一支部では新しい試みとして、自治会長さん民生児童委員さんをお願いし、各町内より近隣ケア、女性会議等の中より、福祉に熱意のある受講者を推薦していただき、四十名余りで一学級編成しました。本年度講義二回、実技二回の計四回福祉講座を実施しました。

第一回講座

講義

講師として市社協奥村係長、前田那加支部長を招きました。奥村係長より「は市社協の沿革、社協の性格と役割、組織と運営、事業等について説明がありました。前田支部長よりは、那加一校区を中心とした高齢化の現状、高齢化社会になった理由、特色、日本人々の将来、高齢化社会になせ社会福祉が必要かなどについてお話がありました。



▲高齢化等についての話をする前田支部長

第二回講座

実技

七月二日 那加西福祉センター
「家庭における介護機器を利用した入浴介助の方法について」実際に機器を使用し実施しました。
市社協、健康管理課等の職員を講師に招いて、家庭での要介護者が一番喜ばれる入浴について、受講者が要介護

福祉講座に四十名参加

様々な角度から福祉を学ぶ

者や介護者の立場になり、グループで相談し、一寸した道具を使い工夫してそれが実践しました。



▲入浴介助を体験する参加者

第三回講座

講演

九月十五日（敬老の日）那加西福祉センター
今年恒例の第九回福祉講演会兼ねて、福祉講座受講者、自治会長さん、民生児童委員さん、近隣ケアの方々等五十余名参加し実施しました。

先生は「わがまちの公的介護保険」と題して、幻灯を使って次の要旨を分かり易く説明されました。今問題になり論議され注目されております公的介護保険導入による新しい地域医療の構築、二〇〇五年頃の各務原市の変化を想定されました。将来は保険・福祉が市町村の管轄となることが予想されます。保険・医療・福祉および地域住民の意識がそれぞれの分野で点と点から面を形成し、やがて、それぞれの面が一つの大きな面に伸展・統合されては

じめて、理想とする豊かな地域社会が創造されるのですと結ばれました。多くの参加者に感銘といろいろな示唆を与えていただきました。



▲講師の長縄信幸先生

第四回講座

実技

十月二日 つつじ苑訪問と奉仕作業
午前九時三十分那加西福祉センターを市バスで出発、つつじ苑着、同苑にて横山事務長より、特別養護老人ホーム一つつじ苑の概要について分かり易く説明をうけました。現在の入居者は六十名で満員、痴呆性・脳疾患の方が多いとのことでした。続いてショートステイ・デイサービス、在宅介護支援センターの現況について説明があり、終わりにボランティアの多少は地域の文化程度だといわれますが、当苑では年間三千六百人程度で一日平均十名程だとのことでした。其の後事務長の案内で苑内の諸施設を見学いたしました。昼食後 前田支部長より、那加第一小学校区の人口構成について少子化・高齢化の現況と移り変わり問題点と、ドイツの介護保険、今論議されて

いる日本の公約介護保険案、敬老の起源は美濃国からについての講話がありました。小憩後同苑の担当職員より入居者痴呆性老人への接し方態度、老人の感じ方考え方、特に一言が良薬にも毒薬にもなる言葉の使い方の重要性について説明があり印象に残りました。午後一時四十分より二時五十分まで、全員で玄関、廊下、食堂等のガラスふきをを行い見違えるように美しくなり、皆さんすつきりとした感じを持ちました。午後三時市のバスで帰り散会しました。